

平成28（2016）年度
事業報告書

自 平成28（2016）年 4月 1日
至 平成29（2017）年 3月31日



公益財団法人 日本盲導犬協会

横浜市港北区新吉田町6001-9
TEL:045-590-1595 FAX:045-590-1599

I. 公益目的事業

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

本年度、46頭の盲導犬を育成し、46ユニットの視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬の貸与を実施した。

46ユニットの内訳は、神奈川訓練センター（以下、神奈川センター）19頭19ユニット、仙台訓練センター（以下、スマイルワン仙台）11頭11ユニット、日本盲導犬総合センター（以下、富士ハーネス）10頭10ユニット、島根あさひ訓練センター（以下、島根パピネス）6頭6ユニット。代替が26頭ユニットで、新規が20頭ユニットであった。

登録番号	盲導犬使用者		盲導犬			卒業年月日	新規
	性別	都道府県	犬種	色	性別		代替
日本-753	女	福岡県	LABR	Y	雄	2016年4月11日	代替
日本-754	男	福岡県	LABR	Y	雌	2016年4月11日	代替
日本-755	女	静岡県	LABR	B	雄	2016年4月15日	代替
日本-756	女	福島県	LABR	B	雄	2016年4月21日	代替
日本-757	男	埼玉県	LABR	Y	雄	2016年4月22日	代替
日本-758	女	青森県	GLDR	G	雌	2016年4月29日	新規
日本-759	女	静岡県	LABR	B	雌	2016年5月5日	代替
日本-760	女	福島県	LABR	Y	雄	2016年5月9日	代替
日本-761	男	埼玉県	LABR	B	雄	2016年5月13日	代替
日本-762	男	東京都	LABR	Y	雌	2016年5月25日	新規
日本-763	女	埼玉県	LABR	B	雄	2016年5月26日	新規
日本-764	女	山梨県	LABR	Y	雌	2016年6月4日	代替
日本-765	女	広島県	LABR	B	雄	2016年6月7日	新規
日本-766	男	神奈川県	LABR	B	雄	2016年6月10日	代替
日本-767	女	千葉県	LABR	Y	雌	2016年6月10日	代替
日本-768	女	茨城県	LABR	B	雄	2016年6月17日	代替
日本-769	男	富山県	LABR	Y	雄	2016年8月13日	新規
日本-770	男	長野県	LABR	B	雄	2016年8月20日	新規
日本-771	女	宮城県	LABR	Y	雄	2016年9月26日	新規
日本-772	女	福島県	LABR	Y	雌	2016年10月1日	新規
日本-773	女	東京都	LABR	B	雄	2016年10月7日	代替
日本-774	男	茨城県	LABR	Y	雄	2016年10月14日	新規
日本-775	男	東京都	LABR	B	雌	2016年10月21日	新規
日本-776	男	神奈川県	LABR	B	雄	2016年10月21日	代替
日本-777	女	神奈川県	LABR	B	雌	2016年10月24日	代替
日本-778	女	北海道	LABR	Y	雌	2016年10月28日	新規
日本-779	男	広島県	LABR	B	雄	2016年11月1日	新規

日本-780	女	神奈川県	LABR	Y	雌	2016年11月25日	代替
日本-781	男	福島県	GLDR	G	雄	2016年11月26日	新規
日本-782	女	福島県	LABR	B	雌	2016年11月26日	代替
日本-783	女	静岡県	GLDR	G	雌	2016年12月6日	代替
日本-784	女	静岡県	LABR	B	雌	2016年12月8日	代替
日本-785	女	福島県	GLDR	G	雌	2016年12月9日	新規
日本-786	男	福島県	LABR	Y	雄	2016年12月10日	新規
日本-787	男	山形県	LABR	Y	雄	2016年12月11日	代替
日本-788	女	静岡県	LABR	Y	雄	2016年12月14日	新規
日本-789	男	広島県	LABR	B	雌	2016年12月16日	代替
日本-790	女	東京都	LABR	B	雌	2016年12月20日	代替
日本-791	男	茨城県	LABR	B	雌	2017年1月20日	代替
日本-792	男	東京都	GLDR	G	雄	2017年1月23日	代替
日本-793	女	千葉県	LABR	B	雄	2017年1月25日	代替
日本-794	女	埼玉県	LABR	B	雌	2017年2月7日	新規
日本-795	男	静岡県	LABR	Y	雌	2017年2月28日	代替
日本-796	男	島根県	LABR	B	雌	2017年3月10日	新規
日本-797	男	埼玉県	LABR	Y	雄	2017年3月21日	新規
日本-798	女	群馬県	LABR	Y	雌	2017年3月30日	新規

犬種：LABRはラブラドル・レトリバー、GLDRはゴールデン・レトリバー
色：Yはイエロー、Bはブラック、Gはゴールド

(2) 盲導犬の認定

本年度は、当協会以外の盲導犬認定は行っていない。

(3) 犬の飼育及び訓練

①候補犬の訓練

本年度に訓練した候補犬は192頭で内訳は次のとおり。なお、この期間に訓練に加わった犬は、192頭の内125頭（入所）である。

訓練終了犬	合格犬（盲導犬）	46頭
	合格犬（繁殖犬）	8頭
	キャリアチェンジ犬	69頭
	計	123頭
訓練過程犬	未決定犬	69頭

②繁殖犬の頭数と繁殖状況

本年度に、雄3頭及び雌6頭（内：訓練犬（合格犬）8頭、外部購入雄1頭）を新たに繁殖犬として登録した。その結果、3月末現在で、雄16頭（2歳～8歳は14頭）、雌34頭（2歳～6歳は30頭）、計50頭の繁殖犬を保有している。なお、凍結精液は本年度協会内で作成した233本を含め4608本を保有している。本年度の出産頭数は116頭、他協会などから子犬を4頭譲り受けた。また他協会へ子犬を1頭譲渡した。

③パピーウォーキング委託状況

本年度に、新たにパピーウォーカー（以下、PW）に委託した頭数は103頭である。PWに対しては、スケジュールなどの共有を目的としたパピーカレンダーを3ヵ月に1回送付し、ワクチンや不妊手術、眼底検査の日程などスケジュール管理を計画的に行った。

④PWに対するしつけと飼育指導

家庭訪問及びしつけ指導は訓練士資格を有している者が中心に対応した。

センターでのパピーレクチャーは合計162日278回実施し、全センターでパピー評価とパピーの訓練導入を目的として、約1週間の預かり訓練「定期預かり訓練」を実施した。

PW家庭訪問は、神奈川センターで34回、スマイルワン仙台で28回、富士ハーネスで63回、島根パピネスで50回実施した。また、各訓練センターでしつけ指導（パピーレクチャー）を行い、神奈川センターで178回、スマイルワン仙台で23回、富士ハーネスで44回、島根パピネスで33回、計175回開催した。

島根あさひ盲導犬パピープロジェクトは、昨年度と同様6頭実施した。

⑤盲導犬の引退・ユニット解消状況

本年度に32頭、32ユニットの盲導犬が引退あるいはユニット解消した。

登録番号	盲導犬使用者		盲導犬			引退年月日	備考
	性別	都道府県	犬種	色	性別		
日本-484	女	福島県	MIXB	B	雌	2016年4月4日	
日本-433	男	埼玉県	LABR	Y	雄	2016年4月11日	
日本-409	男	宮城県	LABR	Y	雌	2016年4月18日	
日本-507	女	福島県	MIXB	Y	雄	2016年4月25日	
日本-418	男	埼玉県	LABR	Y	雌	2016年4月25日	
日本-455	女	茨城県	LABR	B	雌	2016年4月25日	
日本-416	女	長野県	LABR	Y	雌	2016年5月9日	
日本-403	女	山梨県	LABR	B	雌	2016年5月16日	
日本-447	男	山形県	LABR	Y	雄	2016年5月22日	
日本-427	男	神奈川県	MIXB	Y	雄	2016年5月30日	
日本-454	男	神奈川県	LABR	Y	雌	2016年10月10日	
日本-446	女	千葉県	LABR	Y	雄	2016年10月10日	
日本-474	男	茨城県	MIXB	Y	雄	2016年10月12日	
日本-578	女	長野県	LABR	Y	雌	2016年10月18日	
日本-747	男	静岡県	LABR	B	雄	2016年11月7日	
日本-428	女	東京都	LABR	B	雌	2016年11月15日	
日本-468	女	神奈川県	LABR	Y	雌	2016年11月16日	
日本-435	女	静岡県	LABR	Y	雌	2016年11月21日	
日本-622	女	静岡県	LABR	Y	雌	2016年11月21日	
日本-592	男	山形県	LABR	B	雄	2016年12月1日	
日本-513	男	広島県	LABR	Y	雄	2016年12月5日	
日本-462	女	東京都	LABR	Y	雌	2016年12月5日	

日本-466	女	千葉県	LABR	Y	雌	2017年1月9日	
日本-431	男	東京都	LABR	Y	雄	2017年1月9日	
日本-778	女	北海道	LABR	Y	雌	2017年1月10日	
日本-590	男	静岡県	LABR	Y	雄	2017年1月22日	
日本-407	女	茨城県	LABR	Y	雌	2017年2月6日	
日本-688	女	千葉県	LABR	Y	雄	2017年2月24日	
日本-580	女	茨城県	LABR	B	雄	2017年3月8日	
日本-598	男	広島県	LABR	Y	雄	2017年3月14日	
日本-615	男	福島県	LABR	Y	雌	2017年3月24日	
日本-453	女	神奈川県	LABR	Y	雌	2017年3月31日	

⑥犬舎及び医療管理

予防医療として犬舎内医療を定着させ、疾病の早期発見を行った。治療に対しては、原因究明を徹底するため獣医師と連携し、早期治療に努めた。ケネルコフ等の対応や疾患の早期発見による医療管理体制も改善している。

PW犬、候補犬に対し、入所時、盲導犬貸与前メディカルチェック、遺伝性疾患のチェックを実施した。定例検査として、眼検査及び股関節検査を訓練センター入所犬に実施した。

⑦協会所有犬一覧

協会所有犬 一覧 (平成29年3月31日現在)										
区分	性別	頭数	飼育管理							
			訓練センター				使用者・ボランティア			
			神奈川	仙台	富士宮	島根	神奈川	仙台	富士宮	島根
繁殖犬	雄	16	0	0	0	0	16	0	0	0
	雌	34	0	0	0	0	34	0	0	0
	小計	50	0	0	0	0	50	0	0	0
パピー		108	0	0	0	0	51	25	16	16
訓練犬		69	26	19	11	13	0	0	0	0
盲導犬	雄	122	0	0	0	0	48	31	21	22
	雌	116	0	0	0	0	60	24	21	11
	小計	238	0	0	0	0	108	55	42	33
引退犬		148	0	0	0	0	91	34	16	7
繁殖引退犬		43	0	0	0	0	39	1	2	1
PR犬		27	3	1	4	4	8	6	1	0
合計		683	29	20	15	17	347	121	77	57

(4) 盲導犬使用者 (以下、ユーザー) に対するフォローアップ (以下、FU)

定期FUの充実をはかるため、新規ユーザーには、「盲導犬新ユニット出発式」として1泊2日で各センター主催にて行った。合計39名が参加した。

期中に発生した他協会盲導犬使用者の線路転落事故を受けて、全ユーザーに対して、電話にて注意喚起を行い、必要に応じてFUを実施した。加えて神奈川センター、スマイルワン仙

台、富士ハーネスにてユーザーワークショップを実施。
F U の効率化を図るために、地域合同F U（新潟）も試験的に行った。

(5) 盲導犬訓練技術・育成技術の向上

盲導犬訓練士のスキルマップを作成し、半期毎年2回のスキル評価を行い、各訓練士の課題を明確にして各訓練士の技術向上の指針や総訓練能力分析などの可視化につなげた。また、スキルマップを基にした指導効果が定着。次期評価者育成を推進した。

より安全で快適な歩行技術の開発として、他犬種、左右持ち替え、バーハンドル、雪道歩行研究を継続。新たに歩行補助機器（ソナー・レーザー）の実用研究を行った。

(6) 各種研修会等への参加

神奈川センターで行われた全国盲導犬施設連合会主催の第2回盲導犬育成ジャパンセミナーに63名が参加、7題の口頭発表を行った。

静岡で行われた視覚障害者リハビリテーション大会に5名が参加するなど、リハビリ関連、医療セミナーなど各種研修会に積極的に職員を派遣。また、外部講師を招き遺伝学や医療疾患に係るセミナーを協会内で実施した。

(7) 施設整備

継続的に各訓練センターの犬舎施設の改修、温度対策や衛生環境面での改善を実施した。

2. 盲導犬歩行指導員等育成事業

(1) 2016年度から盲導犬訓練士養成を再開し、准盲導犬訓練士2名を養成した。

(2) 盲導犬歩行指導員・盲導犬訓練士の認定

全国盲導犬施設連合会が行った盲導犬訓練士等資格認定審査において、盲導犬歩行指導員審査に盲導犬訓練士3名が合格した。

3. 調査研究事業

(1) 盲導犬の人工繁殖・育種技術の導入

遺伝性疾患低減に向け家系図調査・分析やデータベース化に取り組んでいる。
繁殖犬の稟性傾向分析を進めており、ジャパンセミナーで発表した。

(2) 共同研究・研究協力

盲導犬の成功率向上、健康面改善を目的に、東京大学、麻布大学による共同研究を継続して行っている。その他研究機関に対しても実験データ取得に協力した。

4. ユーザーサポート事業

(1) 盲導犬歩行についての理解促進

盲導犬希望者に対し、体験歩行会（日帰り）と盲導犬説明会（1泊2日）を各センターで開催した。

体験歩行会は、関係団体とも連携し、神奈川センターで27回294名、スマイルワン仙台で34回83名、富士ハーネスで10回67名、島根パピネスで8回39名、計79回483名の視覚障がい者が参加した。

盲導犬説明会は、神奈川センターで12回45名、スマイルワン仙台で8回19名、富士ハーネスで6回8名、島根パピネスで2回2名、計28回74名の視覚障がい者が参加した。

(2) ユーザーコミュニケーション

ユーザー一人ひとりとのコミュニケーションをすすめるため、年1回ユーザーから定期報告を直接電話で聞き取り、ユニットの歩行状況、生活状況を把握し、訓練部へ情報共有した。

また、盲導犬が6歳になるユーザーを対象に、盲導犬6歳時コミュニケーション会を開催し、15名が参加した。

(3) 視覚障がい者在宅生活指導（白杖歩行訓練等）

神奈川センター、スマイルワン仙台、富士ハーネス、島根パピネスにおいて、計97名に対し、869コマの訓練を行った。

(4) リハビリテーション相談

盲導犬希望者、在宅指導希望者、短期リハ希望者等79名に対し84回の相談に応じ、必要な助言等を行った。

(5) 短期リハビリテーション訓練

スマイルワン仙台、富士ハーネスにおいて合計9回の短期リハビリテーションを実施した。参加者は合計21名で、全員が新規参加者であった。

また、スマイルワン仙台が初めて当事者の地元に出向く出張型短期リハを新潟で実施し、2名が参加した。

(6) 視覚障がい児キャンプ

スマイルワン仙台にて視覚障がい児キャンプを実施した。7家族が参加し、視覚障がい児は7名、家族含め合計20名参加した。内新規参加者は2家族であった。

(7) 各種研修会への参加

静岡県で開催された視覚障害リハビリテーション研究発表大会に3名の職員が参加した。

(8) 講師派遣

講師派遣の依頼を受け、支援者向け講習会を宮城県で4回、山形県で3回、福島県で1

回、静岡県で4回、計12回、281名に対して実施した。当事者向け講習会は福島県で3回、山形県で2回、宮城県で1回、岩手県で1回、静岡県で2回、茨城県で1回、計10回、137名に対して実施した。

協会の自主事業として支援者向け講習会を1回実施した。また、ソフトバンク株式会社の協力を得て iPhone 講習会を1回開催し、5名が参加した。

(9) パートナーズの発行

ユーザーをはじめとする視覚障がい者への情報提供として「パートナーズ」を年4回発行した。

5. 啓発事業

(1) 盲導犬普及啓発街頭活動

多くの市民に実際に盲導犬をみてもらうことで、盲導犬(補助犬)の受入れの促進と、視覚障がいと盲導犬への理解をはかることを目的とし、「Heart to Heart」の精神で盲導犬普及啓発街頭活動を積極的に展開、盲導犬ユーザー・ボランティアと職員が一致協力して、各訓練センターが地域に根差した独自の活動を合計534回実施した。

① 神奈川センター	…… 186回
② スマイルワン仙台	…… 218回
③ 富士ハーネス	…… 29回
④ 島根パピネス	…… 101回

(2) 盲導犬普及商業施設活動

(i) デパート・スーパーでの「盲導犬ふれあい広場」の開催

商業施設の協力を得て、視覚障がいと盲導犬への理解をはかることを目的とし、商業施設内において盲導犬普及啓発活動を合計102回実施した。

① 神奈川センター	…… 58回
② スマイルワン仙台	…… 27回
③ 富士ハーネス	…… 2回
④ 島根パピネス	…… 15回

(ii) 全国盲導犬施設連合会「全国盲導犬普及キャンペーン」への参加

全国盲導犬施設連合会主催の「全国盲導犬普及キャンペーン」に合計15回対応した。

① 神奈川センター	…… 15回
② スマイルワン仙台	…… 0回
③ 富士ハーネス	…… 0回
④ 島根パピネス	…… 0回

(3) 訓練センター外での実演・講演等

盲導犬や、身体障害者補助犬法・障害者差別解消法への理解促進のためにセンターで実施した実演・講演は計285回、社会貢献活動を実施した企業・団体での贈呈式は101回、合計386回実施した。

実演・講演

① 神奈川センター	…… 137回
② スマイルワン仙台	…… 65回
③ 富士ハーネス	…… 47回
④ 島根パピネス	…… 36回

贈呈式

① 神奈川センター	…… 47回
② スマイルワン仙台	…… 23回
③ 富士ハーネス	…… 17回
④ 島根パピネス	…… 14回

(4) 盲導犬小中学校キャラバン

次世代を担う子供たちに対して視覚障がいと盲導犬への理解をはかることを目的とし、全国の小中学校訪問活動を中心とする盲導犬小中学校キャラバンを合計347回実施した。

① 神奈川センター	…… 95回
② スマイルワン仙台	…… 112回
③ 富士ハーネス	…… 24回
④ 島根パピネス	…… 116回

(5) 理解促進イベントの開催

各訓練センターで、盲導犬体験活動を通じた啓発イベントを開催した。

① 神奈川センター

北里大学メディカルセンター（埼玉県北本市）、神奈川県立こども医療センター（横浜市）、茨城県立こども病院（水戸市）、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（沖縄県南風原町）、聖マリアンナ医科大学病院（川崎市）、川崎市立多摩病院（川崎市）で、計53回の動物介在活動（AAA）、動物介在療法（AAT）を実施し、医療機関への盲導犬同伴への理解促進を行った。

京王電鉄株式会社の「視覚障害をお持ちのお客様ご案内方講習」に協力し、駅での視覚障がい者への声掛けや案内方法について鉄道事業者への理解促進を行った。

② スマイルワン仙台

仙台市交通局、商業施設における盲導犬受入セミナーを合計30回実施し、盲導犬ユーザーの対応について理解と協力を求めた。また、新規ユーザーが居住する5市町長を訪問し、盲導犬の受入れ促進を要請した

③ 富士ハーネス

GW、夏期休暇期間に特別イベント、12月にキャンドルナイトを開催した。6月『第25回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 IN 静岡大会』に併せ、静岡市内ホテル7箇所、静岡県タクシー協会を対象に視覚障がい者の受入れサポートを目的とした盲導犬受入れセミナーを合計9回実施した。

④ 島根パピネス

株式会社広島電鉄や広島県タクシー協会など交通事業者を中心に、盲導犬受入セミナーを合計9回実施した。

(6) 見学会の開催

各訓練センター内で見学会を次のとおり実施した。

① 神奈川センター	見学会	6回	(参加者数	220人)
	団体見学会	36回	(参加者数	514人)
② スマイルワン仙台	見学会	5回	(参加者数	91人)
	団体見学会	43回	(参加者数	1,497人)
③ 富士ハーネス	見学会	通年	(参加者数	12,694人)
	団体見学会	185回	(参加者数	5,544人)
④ 島根パピネス	見学会	9回	(参加者数	292人)
	団体見学会	32回	(参加者数	830人)

(7) 広報活動

(i) 会報誌「盲導犬くらぶ」の発行

A4版16ページの会報誌を、年4回(82号~85号)、合計196,100部、音声CD1,017部発行した。

(ii) 電子メディアの運営

① ホームページの運営

年間訪問者数451,754人。

受入れ拒否対応事例集や盲導犬誕生100年などのコンテンツを新設した。

② SNS、ブログ運営

フェイスブックフォロワー 1,809人、ツイッターフォロワー5,987人、アメーバブログ149回配信した。

(iii) 情報管理

盲導犬ユーザーの駅ホーム転落事故を受け、メディア・一般から多数問い合わせがあり、これに対応した。

(iv) メディアへの掲載

メディアリリースを18回実施。メディア掲載回数は456回だった。

	神奈川センター 東京事務所	スマイルワン仙台	富士ハーネス	島根パピネス
新聞	61	50	34	38
テレビ	46	23	8	25
WEB	54	4	1	5
その他	73	13	14	7
合計	234	90	57	75

6. 関係団体協力事業

(1) 日本盲導犬協会ユーザーの会、ボランティア委員会との協力

ユーザーの会主催の総会、盲導犬歩行ワークショップ開催への支援・協力を行うことにより、ユーザーとの協力・連携を深めた。また各センターで慰霊式を開催し、多くの盲導犬ユーザー、ボランティアの参加を得た。

(2) 全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク（以下、AGBN）、その他補助犬団体への協力

- ①全国盲導犬施設連合会の「運営委員会」「訓練士認定委員会」の委員として、連合会の運営に貢献した。第2回盲導犬育成ジャパンセミナーを主管団体として開催した。
- ②全日本盲導犬使用者の会との話し合いに参加した。
- ③AGBNの運営・実務者会議へ出席し、他の育成団体との情報交換、繁殖協力を行った。AGBN加盟団体が共同で実施している犬の行動評価GDBart・BCLテストを実施した。

(3) 日本盲人社会福祉施設協議会、日本盲人福祉委員会、日本動物病院福祉協会、視覚障害リハビリテーション協会、日本身体障害者補助犬学会、日本介助犬協会、聴導犬育成団体、県市社会福祉協議会等への協力

- ①日盲社協の理事・評議員として貢献し、視覚障害者への生活訓練の実態調査の実務を担当し、発表した。また、盲導犬委員会を開催し、盲導犬の訓練基準の改訂を行った。
- ②日本盲人福祉委員会が実施した熊本地震の視覚障害者災害支援に参加、援助を行った。
- ③日本介助犬協会の評議員として貢献。また、普及活動に協力した。
- ④視覚障害リハビリテーション協会の事務局を運営、大会開催に貢献。また、日本身体障害者補助犬学会の事務局運営に貢献するなど、各種団体との連携を深め広く協力体制を整えることにより、福祉事業としての一層の充実と発展を図ることを目的として活動した。

(4) 国際盲導犬連盟（IGDF）への協力

IGDFの理事および査察員としてIGDFの運営に貢献した。

5月にクロアチアで開催されたIGDFセミナーに役職員10名を派遣。1題の口頭発表と3題のポスター発表を行った。

(5) 諸外国の盲導犬施設との交流

新犬種の訓練視察に米2施設を視察した。

盲ろう者への歩行指導研修に米2施設を視察した。

新血統導入のためにニュージーランドを訪問した。

チェコブリーダーより繁殖犬を導入した。

フランス繁殖センターと凍結精液を交換した。

イギリスGDBAから凍結精液を輸入した。

7. その他

(1) ACジャパンの支援による広報

ACジャパンの支援により、テレビ、ラジオ、映画、新聞、雑誌、駅ポスター、中づり、映画広告などの広報媒体でCMが流れた。なお、2016年7月1日に3作目のCMに切り替わった。2017年6月30日に終了となる。

(2) 人材育成

①自由研究およびQCサークル活動を奨励、職員研究発表大会を2016年12月に開催し、12題が発表された。

②同行援護従事者研修に職員5人を派遣した。

③盲ろう者通訳介助員養成講座に訓練士1名を派遣した。

④准認定ファンドレイザー資格取得研修に職員1名を派遣した。

(3) 東日本大震災支援

被災地域から要請のあったリハビリテーションに対し、在宅訓練として実施した。

(4) 協会ICTインフラの整備

情報セキュリティの基盤強化のため、拠点内および拠点間のインフラを再整備し、ICTシステム基盤の更改を実施した。

(5) 事業継続計画

富士ハーネスでBCP訓練を実施した。

(6) 周年事業の実施

① 富士ハーネス10周年の記念式典ならびに感謝祭を10月に開催した。

② スマイルワン仙台15周年のマークを作成し、広報した。

③ 協会創立50周年記念プロジェクトを立ち上げ、記念誌の作成、式典の開催、レガシー事業の草案づくりの準備を始めた。

II. 管理・運営

1. 理事・監事・評議員の状況

総数（平成29年3月31日現在）

理事…12人、 監事…3人、 評議員…10人

2. 理事会・評議員会・常任理事会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

開催年月日	現在数	出席数	議案	審議結果
平成28年 5月31日	13人	9人	第1号議案／平成27年度事業報告及び決算報告の件	議決 (賛成多数)
			第2号議案／評議員会 開催の件	
平成28年 6月21日	12人	9人	第3号議案／評議員選定委員会運営細則の変更の件	議決 (賛成多数)
			報告事項／業務執行理事の職務の分担執行状況の報告	
平成28年 10月25日	12人	10人	第1号議案／代表理事及び執行理事互選の件	議決 (賛成多数)
			第2号議案／評議員選定委員補充選任の件	
平成28年 10月25日	12人	10人	第3号議案／顧問選任の件	議決 (賛成多数)
			第4号議案／個人情報保護規程等の制定の件	
平成29年 3月24日	12人	11人	第5号議案／常勤役員の報酬額の件	議決 (賛成多数)
			第1号議案／顧問の選任について	
平成29年 3月24日	12人	11人	報告事項／平成28年度 上半期事業及び収支報告	議決 (賛成多数)
			報告事項／常任理事の職務の分担執行状況の報告	
平成29年 3月24日	12人	11人	第1号議案／平成29年度事業計画及び予算の件	議決 (賛成多数)
			第2号議案／事務処理規程の変更の件	
平成29年 3月24日	12人	11人	第3号議案／業務執行理事を追加で互選する件	議決 (賛成多数)
			第4号議案／統括管理者の承認の件	
平成29年 3月24日	12人	11人	報告事項／業務執行理事の職務の分担執行状況の報告	議決ナシ

(2) 評議員会の開催状況

開催年月日	現在数	出席数	議案	審議結果
平成28年 6月21日	11人	7人	第1号議案／平成27年度事業報告及び決算報告の件	議決 (賛成多数)
			第2号議案／理事選任について	
平成28年 10月25日	10人	7人	第1号報告／顧問の選任について	議決 (賛成多数)
			報告事項／平成28年度 上半期事業及び収支報告	
平成28年 10月25日	10人	7人	報告事項／常任理事の職務の分担執行状況の報告	議決ナシ

(3) 常任理事会の開催状況

常任理事会を次のとおり開催し、日常業務の執行及び重要業務の協議決定を行った。

平成28年4月15日、5月16日、6月13日、7月29日、8月19日、9月16日、
10月20日、11月21日、12月19日

平成29年1月16日、2月13日、3月6日

3. 職員の状況

平成29年3月31日現在の職員の状況は以下の通りである。

センター	部署	男	女	計
東京本部	総務部	4	6	10
	普及推進部	2	2	4
	センター計	6	8	14
神奈川センター	総務部	2	3	5
	訓練部	6	20	26
	ユーザーサポート部	2	2	4
	普及推進部	1	4	5
	センター計	11	29	40
スマイルワン仙台	総務部	2	1	3
	訓練部	2	8	10
	ユーザーサポート部	2	2	4
	普及推進部	2	2	4
	センター計	8	13	21
富士ハーネス	総務部	1	2	3
	訓練部	3	12	15
	ユーザーサポート部	0	1	1
	普及推進部	2	1	3
	センター計	6	16	22
島根パピネス	総務部	1	1	2
	訓練部	3	4	7
	ユーザーサポート部	0	0	0
	普及推進部	2	0	2
	センター計	6	5	11
職員合計	総務部	10	13	23
	訓練部	14	44	58
	ユーザーサポート部	4	5	9
	普及推進部	9	9	18
	総計	37	71	108
常勤理事		2	0	2

センター長・東京本部長は総務部に含める

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので記載を省略する。

公益財団法人 日本盲導犬協会